

# 「生きている化石」カブトガニ

笠岡市といえばカブトガニが有名ですが、みなさんはカブトガニが天然記念物だと思いませんか？実は天然記念物はカブトガニではなく繁殖地のことなのです。

今は減少しており、全国で四千匹しかいないそうです。私たちは、カブトガニのことを詳しく知らなかったので調べました。

(6年 奥山 美月)

## カブトガニの紹介



僕達カブトガニは、約2億年前から姿や形を変えないで生き続けている「生きた化石」なんだよ。僕達は体が小さく、変温動物だからエネルギーの消費も少なく、少しの食料で生きられるんだ。冬眠するから、体に脂肪をたくわえ1~2年間は何も食べなくても生きることができるよ。そのおかげで、僕達は絶滅せずに生き残ることができたんだ。

(5年 馬場 優生、森兼 優)

## 産卵と成長

僕達の産卵時期は7月~8月で、真夜中の満潮の時にされるんだ。波の流れにそって産卵するんだよ。水の中だと、敵からおそわれずに安全に卵を産むことができるんだ。産卵の順序は、こんなかんじ。最初に足で砂をほって、そこにメスが卵を産むんだ。続いてオスが、精子を出すんだよ。もしも、この順序がちがったら卵に精子が、かからなかったりして卵が死んでしまうんだ。実は、僕達は15cm~20cmくらい動きながら卵を産んでいるんだ。一生に約2万個も産んで、2億年も前から栄えているよ。だから、「生きた化石」と言われているんだ。僕達は、暖かくなるまで冬眠をするんだ。これは、長いんだ。もちろん、大変な時だってあるよ。赤潮が来た時は、酸素が少なくなって大変なんだ。それに、海がくさってしまって、僕達が望んでいる環境では、なくなってしまうんだ。

(4年 佐藤 美織、5年 松山ひとみ)

笠岡地区  
まちづくり  
協議会  
文化部会



## 博物館での質問

- Q. カブトガニの敵は何ですか？
- A. カブトガニの敵は人間です。人間に捕まるとカブトガニは死んでしまうおそれがあります。
- Q. カブトガニのえさは何ですか？
- A. カブトガニのえさは、主にゴカイです。実際に見てみると小さなカブトガニも、少し大きめのカブトガニもゴカイを食べています。
- Q. どうやってカブトガニのえさを調べるのですか？
- A. カブトガニをいったん捕まえて、出したフンを

調べてみます。すると何を食べていたかが分かります。この方法だとカブトガニを殺さなくて済みます。

### Q. カブトガニはなぜ笠岡にいるのですか？

A. カブトガニは九州、瀬戸内海にいます。しかし瀬戸内海全てにいるわけではありません。カブトガニは、川の水が海に流れ込んでいるところで、砂浜とひがたがあり、さらに水温が高く波のおだやかなところに住んでいます。笠岡は、この条件が満たされているので、カブトガニがいます。

(4年 小川 南)



自分でひっくり返ってしっぽで起き上がるんだよ。



幼生時は約1センチメートル。とても小さいよ。泥の中の栄養物やヨコエビなどを食べて、大きくなるよ。(4年 森本 恵介)